

第 1 回目黒区生物多様性地域戦略(仮称)策定検討委員会 資料集

目 次

1	生物多様性地域戦略策定に向けた区の考え方について	
1 - 1	生物多様性地域戦略策定に向けた区の考え方について	2
1 - 2	目黒区生物多様性地域戦略(仮称)策定スケジュール案	3
1 - 3	参考：目標のイメージ	3
2	目黒区における生物多様性の現状について	
2 - 1	地域のつながり 1 (目黒区の位置)	4
2 - 2	目黒区の生物多様性に関する地域資源の例示	4
2 - 3	地域のつながり 2 (目黒区で記録のある長距離を移動する生物の例)	5
2 - 4	みどりの変化	6
2 - 5	身近に親しむいきもの(みんなで選ぶ目黒のいきもの 80 選)	7
2 - 6	いきものを調べる (継続している区民参加の調査)	8
2 - 7	さまざまな地域の活動	9
2 - 8	学校の活動(ビオトープ)	10
2 - 9	これまでの施策の流れ(野鳥のすめるまちづくり施策の推進)	10
2 - 10	区の自然環境に対する基本的な計画	11
3	目黒区における生物多様性の課題について	
3 - 1	エコロジカルネットワークの形成の課題	12
3 - 2	みどりの質の課題、公園の要望	12
3 - 3	参加や啓発・くらしの課題	12
3 - 4	参考：人といきものが共生する街づくりのイメージ	13

以 上

1. 生物多様性とは

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生きものは 40 億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000 万種ともいわれる多様な生きものが生まれた。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きている。

【多様性の種類】 生態系の多様性
種の多様性
遺伝子の多様性

【生物多様性のめぐみ】 すべての生命の存立基盤
暮らしの基盤
豊かな文化の根源

【生物多様性の危機】

- 第 1 の危機：開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少
- 第 2 の危機：里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下
- 第 3 の危機：外来種などの持ち込みによる生態系のかく乱
- 第 4 の危機：地球温暖化による世界的な危機

2. 法体系

【生物多様性条約】

- ・ 締約国は生物多様性国家戦略を策定
- ・ 国連生物多様性条約締約国会議（COP10）にて承認された「都市と地方自治体の生物多様性に関する行動計画」で地方自治体に生物多様性地域戦略の策定を求める。

【生物多様性基本法(平成 20 年 6 月法律第 58 号)】
生物多様性地域戦略の策定の努力義務を規定
(第 13 条)

【生物多様性国家戦略(平成 24 年 9 月閣議決定)】
生物多様性地域戦略の策定の重要性を明記

目黒区環境基本計画改定

東京都の地域戦略、その他関連計画等と整合

目黒区生物多様性地域戦略（仮称）の策定

生物多様性地域戦略:区域内における生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画

3. 策定に向けた基本的な考え方

- ・ 生物多様性の大切さを区民に示す。
- ・ 生物多様性の回復に向けた将来ビジョンを示す。
- ・ 既存の事業等への生物多様性の視点を導入する。
- ・ 策定段階から区民等の参加・連携に留意する。

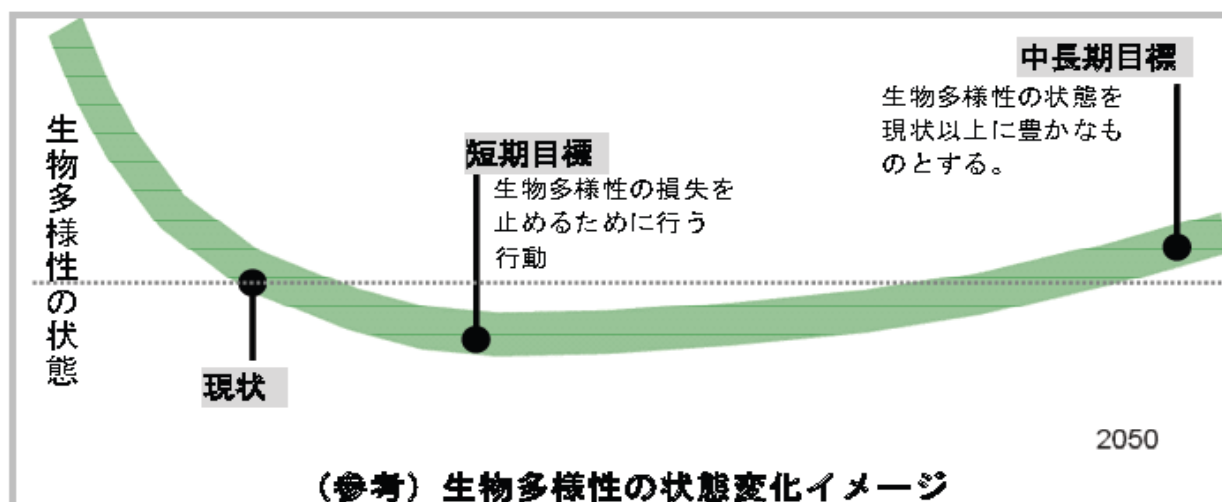
4. 目黒区の特徴例

- ・ 武蔵野台地の東端にあり、崖線を通して奥多摩や関東平野周辺の山地と接続。
- ・ 住宅地の庭小規模なみどりがモザイク状に点在して、多様なみどりを形成している。
- ・ 都市公園等の緑地など身近な場所でもさまざまな生き物が見られる。
- ・ 区内の緑地を渡り鳥が休息地としても利用している。
- ・ 生物に配慮した公園の整備や住民参加による緑化活動が行われている。
- ・ 目黒川を通して東京湾や外洋の生態系と接続している。
- ・ 区全域で密度の高い土地利用が進み、樹木の減少が見られる。

年度	日程	検討委員会内容	備考
平成 24 年度	平成 24 年 7 月 ~		生物多様性の現況の把握 みんなで選ぶめぐろのいきもの 80 選の実施 庁内検討会の開始
	11 月 29 日	第 1 回検討委員会 ・現況の把握 ・課題の抽出等	
平成 25 年度	平成 25 年 4 月	第 2 回検討委員会 ・基本目標について ・施策の方向性と目的等について	
	6 月	第 3 回検討委員会 ・基本方針案の検討	
	7 月		基本方針《案》作成 環境審議会の実施 懇談会(説明会)の実施
	9 月	第 4 回検討委員会 ・懇談会の結果報告 ・施策と推進体制 ・地域戦略の普及等について ・地域戦略《素案》の検討	
	11 月		地域戦略《素案》作成 環境審議会の実施 パブリックコメントの実施
	12 月	第 5 回検討委員会 ・パブリックコメント結果報告 ・内容の修正 ・地域戦略普及等について	
	平成 26 年 1 月		地域戦略《案》作成
	3 月		地域戦略策定

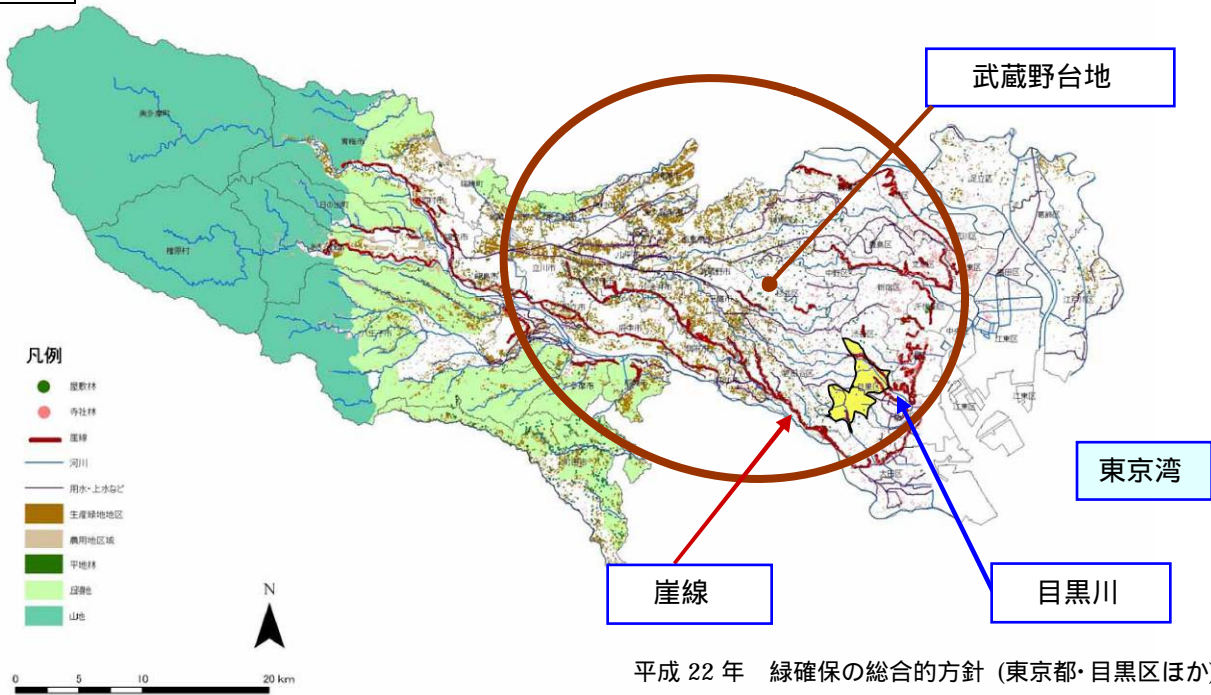
参考: 目標のイメージ (第三次生物多様性国家戦略を元に作成)

資料 1-3



2 - 1

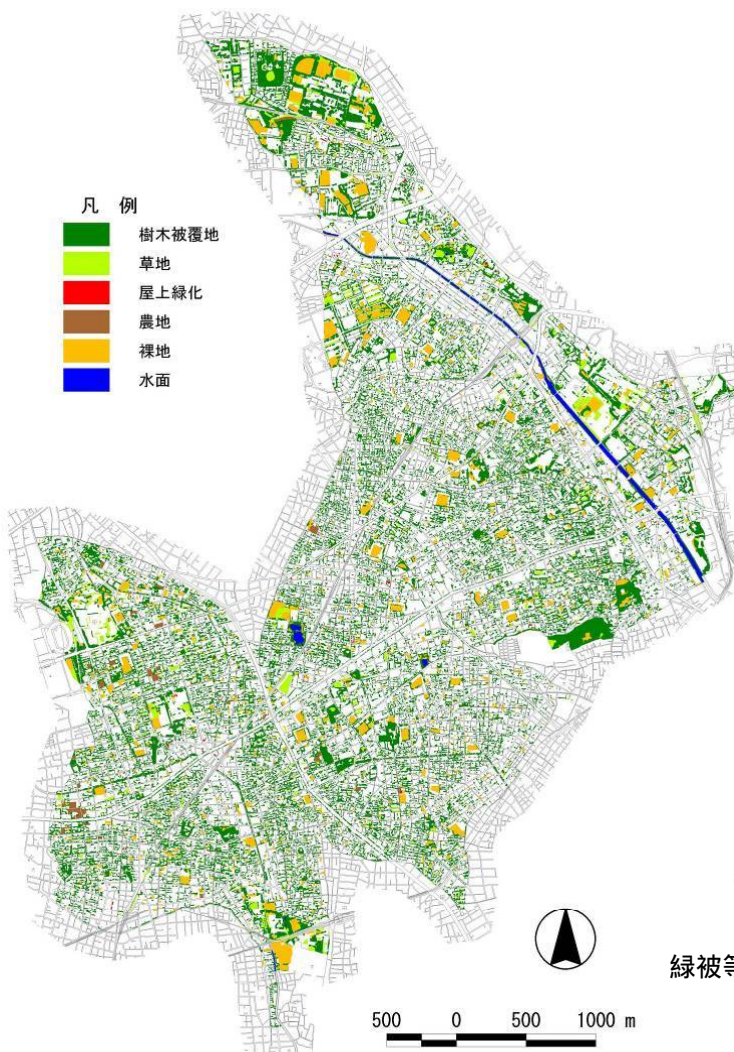
地域のつながり 1 (目黒区の位置)



平成 22 年 緑確保の総合的方針 (東京都・目黒区ほか) より

資料 2 - 2 目黒区の生物多様性に関する地域資源の例示

武蔵野の風景、坂、さくら、目黒川、みどりの残る住宅街、特徴のある公園、大学等の公共施設、身近な歴史と散歩道、地域の活動、野鳥のすめるまちづくりの推進、花いっぱい活動 ほか



目黒区の水系



緑被等分布図(平成 15 年:目黒区 緑の実態調査より)



地域のつながり 2 (目黒区で記録のある長距離を移動する生物の例)

2 - 3

渡り鳥 ツバメやツグミ、カモ類など、海を越えて繁殖地や越冬地を行き来
 魚など ポラやウナギ、モクスガニなど、産卵海域から河川上流部まで行き来
 昆虫類 アサギマダラやウスバキトンボなど、長距離を移動

アサギマダラ
 渡りをするチョウ

北の森でヒナを育てる**エゾビタキ**

ウスバキトンボ
 長距離を移動するトンボ

エゾビタキ
 スズメ目 ヒタキ科
 大きさ 15cm

夏鳥たち
 (日本で子育てする鳥、冬は南の国に渡ります)
 (目黒区では春と秋に通過)

シベリア

オオハクチョウ ロシア

トビ

エゾビタキ
 マミヤジナイの渡りルート

日本

ラッコ

ユリカモメ

イルカ

コサメビタキ
 大きさ 13cm

オオトリ
 大きさ 16cm

ツバメ

他の夏鳥の渡りルート

ウスバキトンボ

沖縄

台湾

シロガサクシラ

フィリピン

イオウミカメ

サンコウチョウ
 大きさ 45cm

インドネシア

オーストラリア

渡り鳥 長い距離を移動し季節によって住む場所を変える鳥。スズメやトビのように一年中同じ地域にいる鳥を留鳥という。

コサメビタキより強い**エゾビタキ**が実を独占することも。

エゾビタキ

コサメビタキ

街の森
 旅の途中、ミズキを訪れる**エゾビタキ**

南の森

南の森で越冬する**エゾビタキ**

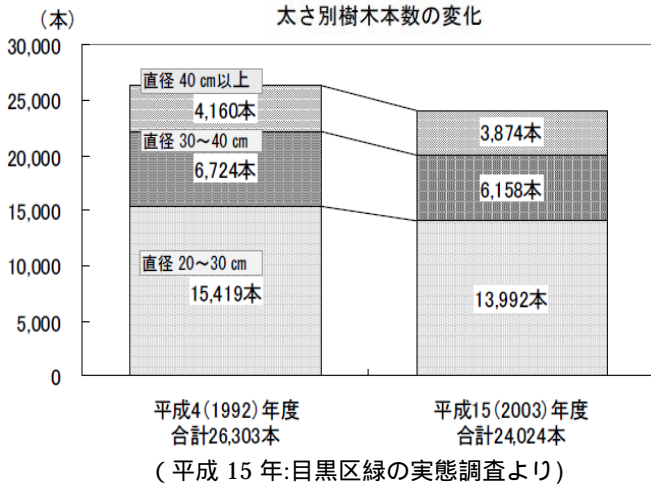
ミズキ ミズキ目 ミズキ科
 秋、紫色の実を熟す。樹林の縁などに種が落ちて芽生えているが、花も地味で人間からはあまり大切にされない。しかし、渡り鳥にとっては、旅の途中の大切な栄養源となっている。北の森と南の森をつなぐ木として、街の森で育てたい。

区民による身近な生物調査資料(平成 23 年 目黒区)より

2 - 4

みどりの変化

樹木の減少

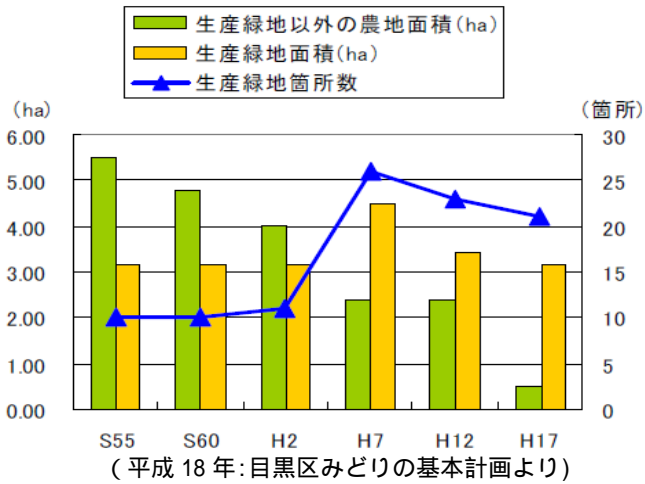


樹木伐採時の保全協議実績

幹周 80 cm以上が対象

平成 年度	20	21	22	23	累計
協議件数	17	28	17	18	91 件
協議本数	149	501	149	122	867 本
保全された樹木数	55	184	55	16	278 本 32.1 %
内移植本数	0	0	33	0	33 本
伐採となった樹木本数	94	317	94	106	611 本

農地の減少



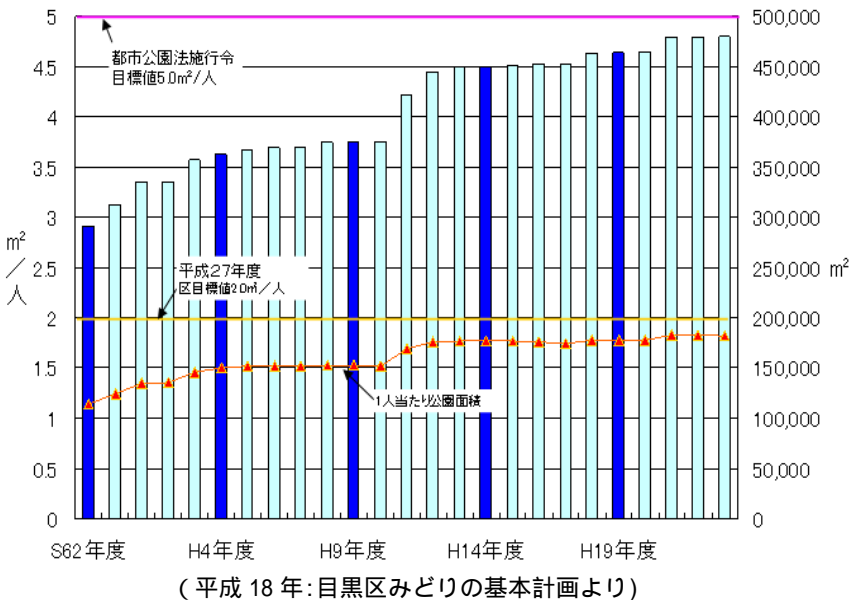
(かつての目黒の産物)



サツマイモによる
屋上緑化(目黒区総合
庁舎屋上目黒十五庭)

増加したみどり

公園面積・1人当たり公園面積の推移



屋上緑化の増加

助成実績累計 (~平成 23 年度)	緑化面積 (㎡)
	件数(件)
屋上	4,173.36
	178
壁面	445.93
	14

民間建物の屋上・壁面の緑化を
行うものに対して区が助成し
たもの(平成14年度から実施)

(目黒区都市整備部事業概要:
平成 23 年度実績より)

身近に親しむいきもの(みんなで選ぶ目黒のいきもの80選)

2 - 5

広報等調査 調査期間 平成24年7月25日～10月31日

中間集計上位30種 (投票参加者数641人 いきもの投票件数約4,000件 種類数約450種)

順位	種名	得票数	分類	順位	種名	得票数	分類
1	ヤモリ	186	爬虫類	15	カルガモ	60	鳥類
2	メダカ	126	魚類	16	カワセミ	56	鳥類
3	ヒキガエル	106	両生類	17	イチョウ	53	植物
4	スズメ	104	鳥類	18	アオダイショウ	51	爬虫類
5	ツバメ	103	鳥類	19	クロアゲハ	50	昆虫
6	ソメイヨシノ	101	植物	20	アズマモグラ	45	哺乳類
7	シジュウカラ	100	鳥類	20	モンシロチョウ	45	昆虫
8	アマガエル	96	両生類	21	カントウタンポポ	43	植物
9	カブトムシ	88	昆虫	22	コクワガタ	40	昆虫
10	メジロ	87	鳥類	23	キンモクセイ	39	植物
11	ウグイス	85	鳥類	24	ミヤギノハギ	37	植物
12	トカゲ	66	爬虫類	25	アオスジアゲハ	36	昆虫
13	アブラコウモリ	63	哺乳類	25	キアゲハ	36	昆虫
14	アユ	62	魚類	26	オカダンゴムシ	34	甲殻類
14	スギナ	62	植物	26	ナミアゲハ	34	昆虫

(順位・得票数は確定していません)

目黒区立小学校児童調査 (参加児童数約1,462人 中間集計)

順位	分類	種名	得票数	選んだ理由(複数選択あり)			
				かわいい	好きだから	近くで見た	育てたことがある
1	動物	カブトムシ	235	36	92	51	159
2	植物	サクラ(ソメイヨシノ)	228	43	96	113	9
3	動物	スズメ	145	99	30	56	6
4	植物	草	140	23	29	55	50
5	動物	トカゲ	129	59	40	60	23
6	植物	イロハモミジ(カエデ)	124	26	61	46	5
7	動物	ツバメ	120	59	37	49	2
7	植物	ウメ	120	31	51	53	13
9	植物	タンポポ	117	34	38	57	4
10	植物	イチョウ	115	11	42	66	0
11	動物	メダカ	95	33	20	19	52
12	植物	スギナ(つくし)	86	23	31	42	2
13	植物	エノコログサ(ネコジャラシ)	85	12	33	49	0
15	動物	ヤモリ	83	50	26	36	10
15	植物	ススキ	81	12	38	40	3
16	動物	オカダンゴムシ(ダンゴムシ)	79	31	26	42	12
17	動物	ウグイス	77	37	38	17	1
18	菌類	きのこ(ドクキノコ等)	76	17	25	47	4
19	動物	カルガモ	64	42	18	22	1
20	動物	アオダイショウ	62	26	37	18	3
20	植物	ヒマワリ	62	9	28	19	27

動物10種、植物11種、菌類1種(順位・得票数は確定していません)

区民参加調査

ウグイスの初音(昭和 52 年から実施)、シジュウカラ巣箱繁殖調査(昭和 59 年から実施)

身近な自然に親しまう




みどり公園と公園課みどりの係 (☎5722-9355)

◆今年はどこで？ウグイスの初音情報をお寄せください
 「ホーホケキョ」とさえずるウグイスの初音は、春が近づいたことを真っ先に知らせてくれます。昨年は2/15に、下目黒一丁目で見られました。ウグイスの鳴き声を聞いたらぜひご連絡ください。
 ご連絡いただいたかたには、結果などをまとめた「自然通信員だより」をお送りします。

◆巣箱モニターを募集します
 3月になると、区の鳥に指定されているシジュウカラが巣作りを始めます。老木のうろ(空洞)などに巣を作りますが、緑の少ない都会では観察が難しくなっています。庭などに巣箱を掛け、区内での巣作りのようすを観察していただける巣箱モニターを募集します。モニターのかたには巣箱の利用状況アンケートの提出をお願いします。初めてモニターになるかたには巣箱を差し上げます。

連絡方法 電話またはハガキ・FAX・Eメール (住所、氏名(ふりがな)、電話、初音を聞いた日時・場所を記入)で、みどり公園課みどりの係 (☎3792-2112、✉sizen@city.meguro.tokyo.jp) へ

募集人数 30人(抽選) 申し込み方法 往復ハガキに「巣箱希望」と明記し、住所、氏名(ふりがな)、電話を書いて、2/8(消印有効)までに、みどり公園課みどりの係へ

イベント型 いきもの発見隊(目黒川等)



自己調査型 指標種調べ(1100 世帯参加中)



- 自庭の昆虫
- 目黒区の蝶
- 目黒区の甲虫
- 東京大学の植物
- 林試の森の野鳥 等

民間の調査

企業 CSR 活動による調査例

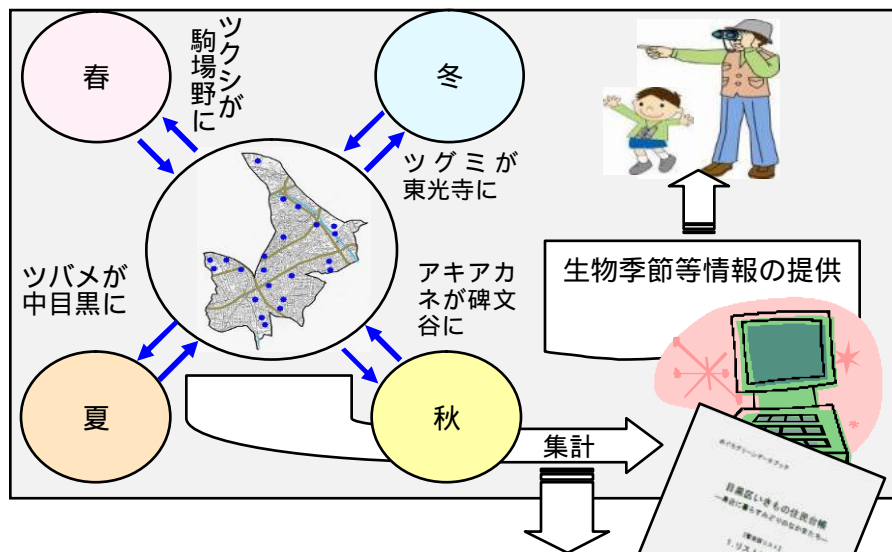
屋上緑化野鳥調査で確認された目黒十五庭の野鳥(平成 24 年実施中)
 キジバト、ドバト、ヒヨドリ、メジロ、ハクセキレイ、ツグミ、ジョウビタキ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ
 以上 10 種(竹中工務店)

観察データの集計と公開(いきもの气象台)

いきもの住民台帳(2009 年暫定版) 掲載種数

- 植物 1000種以上
- 菌類(きのこ) 約250種
- クモ 約120種
- 昆虫 約1000種
- 魚類 約30種
- 両生・爬虫類 約20種
- 鳥類 約150種
- 哺乳類 約10種

いきもの住民台帳の動植物リストには、専門家による調査結果も含まれています。



いきもの住民台帳(暫定版)の公開(ホームページ等)

公園の活動(自然環境保全～まちづくりの拠点)



自然観察舎の事例

自然の恵みの体験・啓発



雑木林の萌芽更新作業



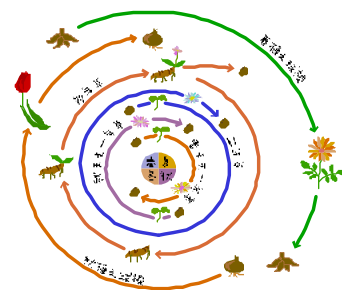
子どもたちの原体験



在来生物の回復



公園まつり(駒場野公園)



種から育てるエコ園芸の普及
さーくる・ガーデン・クラブ

イベント等の例

参加希望者は当日会場へ

地産地消を語ろう!

都市農業トークライブ

60th Anniversary

目黒区産業経済課経済・融資係 ☎5722-9879

日時 11/25 (日) 10:30~12:00
会場 JA世田谷目黒ファーマーズセンター(桜新町駅下車8分)
定員 60人(先着) 主催 目黒区、世田谷区、世田谷目黒農業協同組合

内容

- ◆目黒区学校給食研究会による地産地消の取り組み事例などの講演
- ◆JA世田谷目黒経営役員会会長、目黒区長、世田谷区長などが、地産地消・食育をテーマに都市農地保全の重要性について語るトークライブと都市農地保全に向けた共同宣言
- ◆地場産の野菜を使った給食メニューの試食

地場産農産物即売会 も行います!
時間 9:30から (売り切れ次第終了)
目黒区と世田谷区で取れた大根やにんじん、たまねぎなどの野菜を即売します

大学との連携事業

東京大学の森で虫たちを探そう
街の森・いきもの住民会議

森に隠れているいろいろな虫たちを探し、森を育てる「ガ」の仲間の不思議な生態を学ぶイベントを、東京大学駒場博物館と共催で行います。

捕虫網のあるかたはお持ちください。

日時 8/21 (日) 10:00~12:30
会場 東京大学(駒場3-8-1)
講師 東京大学大学院総合文化研究科研究員 神保宇嗣氏
対象 自然通信員、または自然通信員の活動に興味があるかた。小学3年生以下は保護者同伴
定員 30人(親子15組程度。抽選) 費用 無料

花とみどりの学習館の取り組み事例

「冬野菜の漬け物」の作り方教室

日時 2月18日(土)午後1時半~3時半
会場 花とみどりの学習館
対象 小学3年生以下は保護者同伴
定員 15人(抽選)
費用 材料費500円

高倉大根です。おじいちゃんに似て、沢庵に向いたんだ。

わしは、大根のなかでも最も有名な球根大根。高倉大根の祖先だよ。

区内商店街振興組合の取り組み事例

自由が丘森林化計画

自由が丘 森林化計画

スタート!

自由が丘森林化計画とは...

上空から東京を眺めたら、緑いっぱいの一画が! 近づいてみるとそこは自由が丘だった

そんな夢を叶えた自由が丘自然通信員を中心に「花とみどりを語り合う」という計画が2005年にスタートしました。継続的な活動でしたが、2016年に東京大学・コーポレーション株式会社第一種マンションパートナーとして参加していたため、より大規模な活動になりました。

おかばちプロジェクト
自由が丘エコポイント
自由が丘デジタルカウチ
ルーフ緑化
自動販売機の設置
無料ワークショップ
東京からコーポレーションの取り組みについて

(自由が丘商店街振興組合のHPより)

2 - 8 学校の活動(ビオトープ)

ビオトープの活動 小学校学習活動

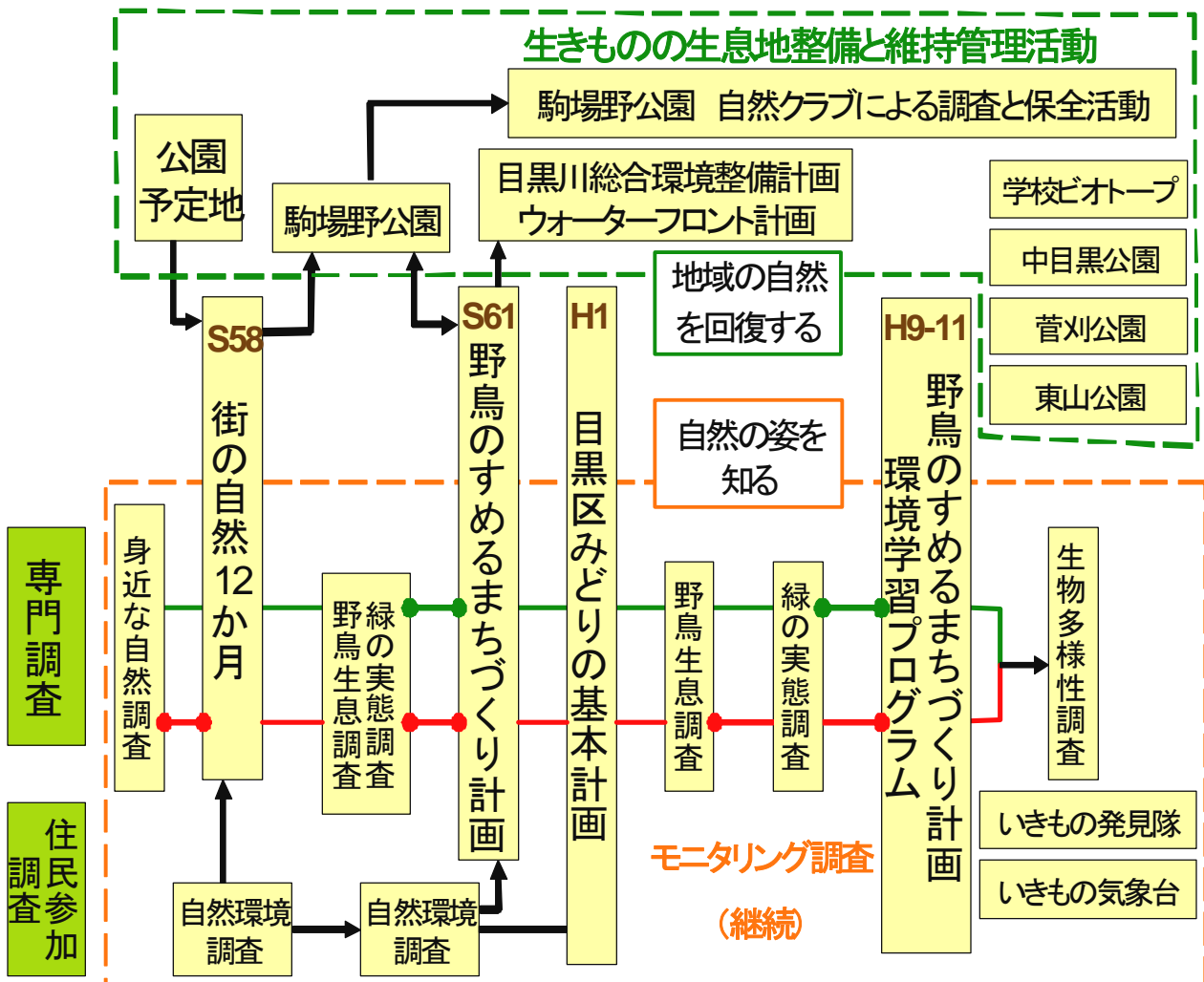


屋上ビオトープ活動例



サインによる空間の意味づけ

2 - 9 これまでの施策の流れ(野鳥のすめるまちづくり施策の推進)



目黒区環境基本計画 (平成 23 年度改定)

施策の目標：都市の生物多様性の確保

- 1 生物多様性地域戦略策定と運用
- 2 自然・生き物の実態の把握と生き物情報の提供
- 3 ビオトープのネットワーク化(エコロジカルネットワークの形成)とより質の高い生息環境づくり
- 4 生物多様性保全のリーダーの育成
- 5 生物多様性に配慮した公園・緑地等の管理

目黒区みどりの基本計画(平成 18 年度改定)

計画の推進：区民・住民団体、企業者・事業者などと相互に協力しながら行っていきます

- 基本目標
- 1 みどりを守り育て増やしていきます (指標:緑被率を 20%へ)
 - 2 身近な公園などみどりの拠点を整備します
(指標:公園面積を 2.0 m²/人に、将来的には 2.5 m²/人へ)
 - 3 生きものの生息に配慮した自然的環境を保全・創出・育成します
(指標:野鳥の年間確認種数 50 種以上を維持)
 - 4 みどりと人の交流を深める場を創出します (指標:緑化推進組織等の育成)

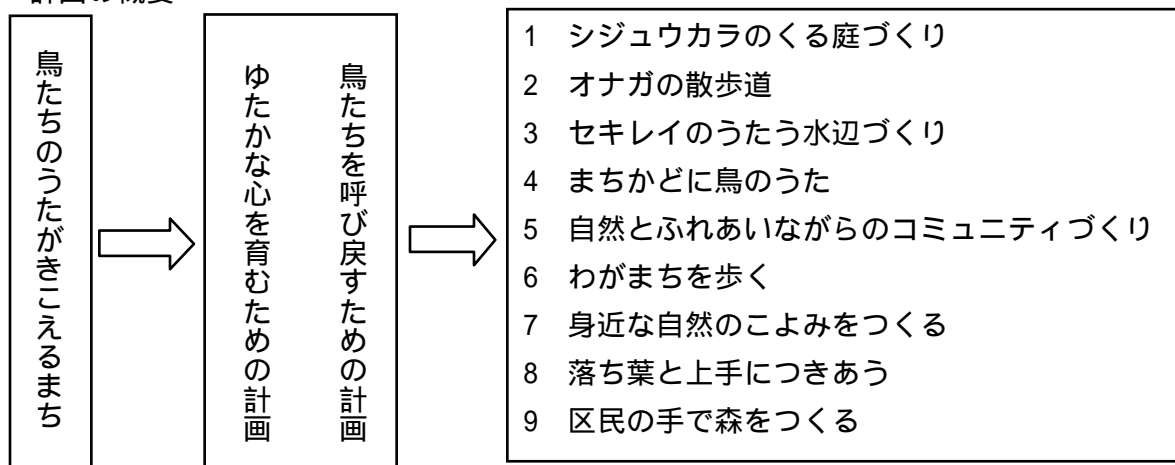
目黒区野鳥のすめるまちづくり計画(昭和 61 年策定)

計画のテーマ：「自然と共存するまち」

基本理念：野鳥を自然のシンボルとした「鳥たちのうたがきこえるまち」

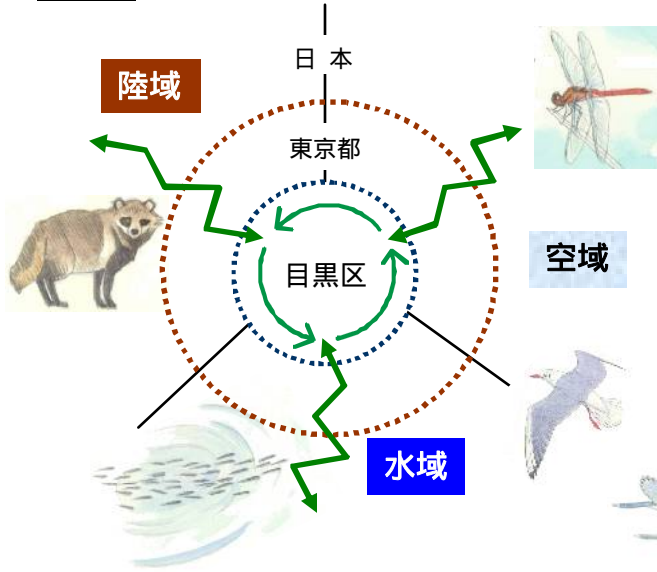
- 3つの目標
- 1 野鳥のすめる環境をつくる
 - 2 自然とのふれあいの場をつくる
 - 3 まちをいつくしむ人間性を育てる

計画の概要



3 - 1

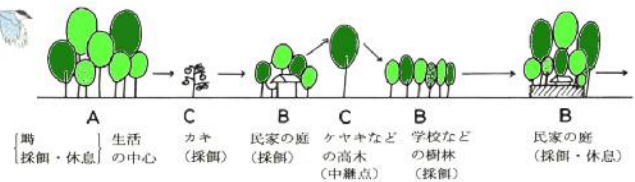
エコロジカルネットワークの形成の課題



いきものの移動経路と分断要因の例

	空	陸	水
移動経路	空間 星座 風	土 崖線 道路 みどり	河川 水路 池 水田
分断要因	構造物 航空機 気候 明るさ	構造物 舗装 車両 気候	構造物 暗渠 水質 水量 気候

オナガ群の冬季移動(目黒区野鳥生息調査より)

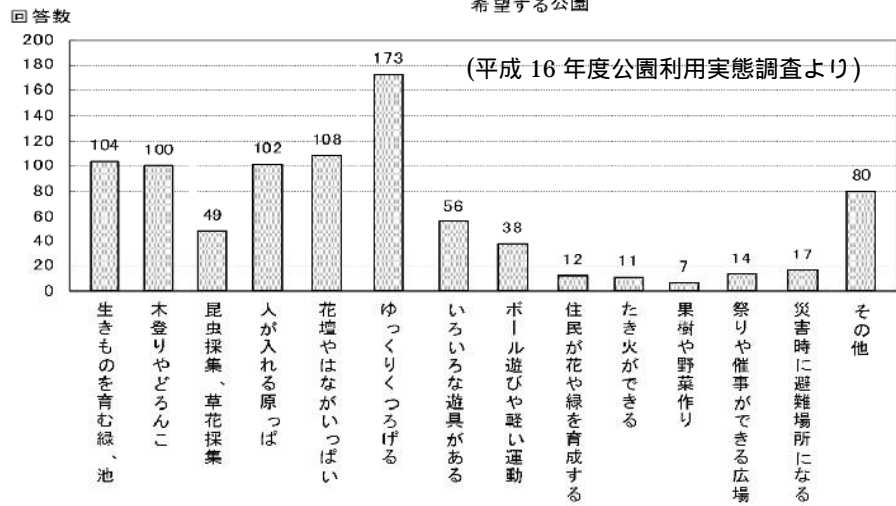


3 - 2

みどりの質の課題、公園の要望



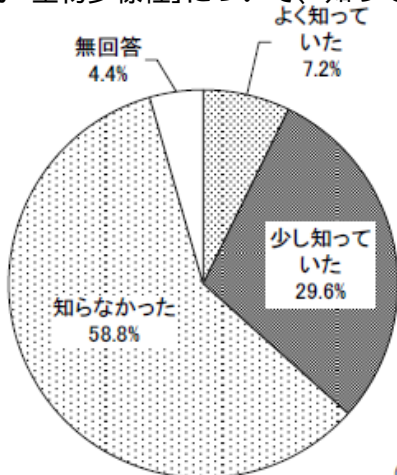
樹林の階層構造がなく落ち葉の堆積のない緑地の例



3 - 3

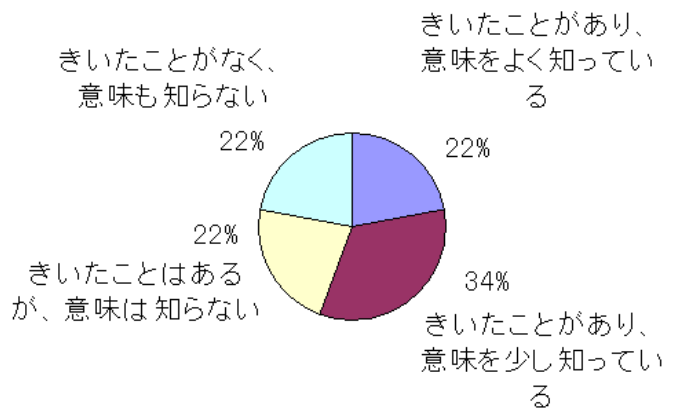
参加や啓発・くらしの課題

世論調査結果 (平成22年目黒区世論調査結果より)
 (設問)今年国連の定める「国際生物多様年」ですが「生物多様性」について、知っていましたか



いきもの発見隊参加者アンケート

・「生物多様性」という言葉を聞いたことがありますか。また、意味を知っていますか。(平成24年11月実施)



自然に対する認識の広がり(目黒区の緑化施策から解析)

